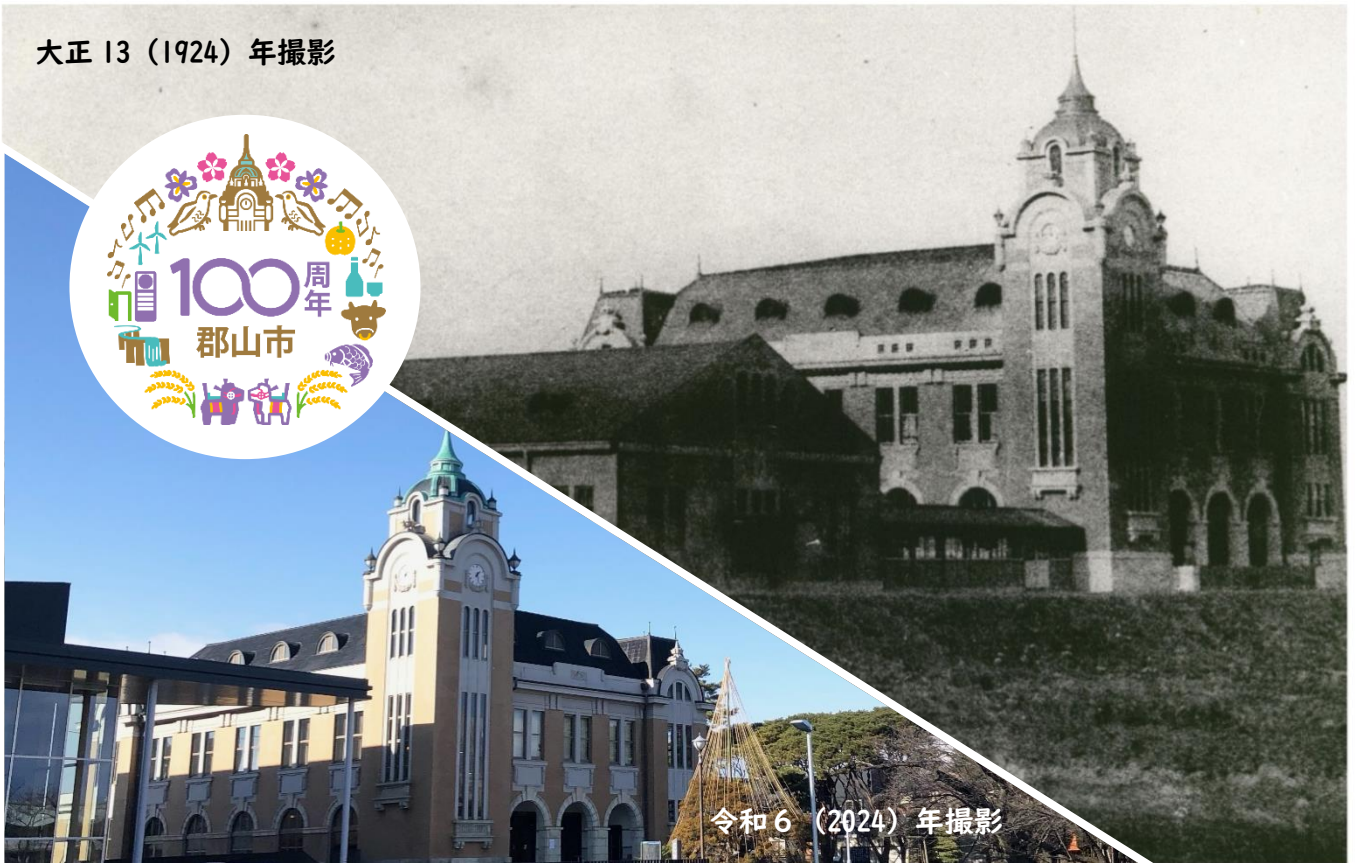


令和 5（2023）年度 郡山市市民活動推進顕彰事業

「まちづくりハーモニー賞」 受賞者紹介

大正 13（1924）年撮影



令和 6（2024）年撮影

郡山市郡山公会堂。大正13（1924）年、市制施行を記念に建造されました。

まちづくりハーモニー賞とは



協働のまちづくりを推進するため、以下の市民活動を行っている方を表彰する制度です。

- ・地域の特性を生かした創造性豊かな地域づくりや波及効果が期待できる活動
- ・魅力と活力あるまちづくりに先導的・先進的な役割を果たしている活動

受賞された皆さんの活動は、SDGs「持続可能な開発目標」のゴール達成にも寄与しています。

受賞者の活動は市ウェブサイトにて情報発信しています



市民活動実践部門 (五十音順)

NPO法人レインボー88



HP



インスタ
グラム



令和4(2022)年から定期的に子ども食堂、フードパントリーを開催。発達障がい児の支援団体など多くの団体と連携し活動しています。飲食店のフードロス対策にも協力するとともに、令和5(2023)年からは、無料のサッカースクールを毎週開催し、多くの子どもたちにスポーツの経験を提供しています。また、代表がパーソナリティを務めるラジオ番組内で、郡山全域に子ども食堂の周知活動を行っています。

【審査委員コメント】社会の潮流にのった取り組みであり、さらなる継続に期待するとともに、市内全体に独自の強み、ノウハウを広めていってほしいです。



子ども食堂を開催しています

学校法人郡山学院

ケイセンビジネス公務員カレッジ・郡山学院高等専修学校



ケイセン
HP



郡山学院
HP



学生・生徒・教職員が一体となって、献血協力活動、防災士の育成、学校周辺の美化活動に取り組んでいます。ケイセンでは、猪苗代湖の環境を守る団体と協力し、ひし刈り活動も行っています。社会に貢献したいという学生・生徒の思いが、献血への協力、地域防災のリーダーの育成による安全安心なまちづくり、地域の環境美化、水資源の環境保全につながっており、これからも地域で活躍できる人材を育成していきます。

【審査委員コメント】学生たちが地域に定着することを望みます。また、防災士を取得した学生の飛躍の場が広がることに期待します。



防災士証書の授与式

郡山室内楽興会



HP



「室内楽を身近に」。平成4(1992)年から、室内楽に特化した定期演奏会を継続して開催しています。演奏会は無料で年3~4回開催し、令和6(2024)年3月には96回目を迎えます。毎回ゲストを迎え、観客である市民も演奏者として参加するなど、多彩なプログラムを提供しています。100回目の定期演奏会を目指し、歴史ある郡山公会堂で室内楽の魅力を発信し続け、音楽都市こおりやまの発展に貢献していきます。

【審査委員コメント】市民も一体となって音楽を楽しむことができます。30年間活動を継続し、毎年3~4回のペースでリサイタルを開催していることに敬意を表します。



ゲストを迎えた定期演奏会

郡山シティガイド がんばっぺチャリンコ

Koriyama City Guide "Gambappe Charinko"



フェイスブック



日本遺産「一本の水路」の魅力を、インバウンド向けに発信するため、令和2(2020)年から活動するボランティアグループです。ウォーキングツアーやオンラインツアーでは、主に英語と日本語でガイドし、絵画や音楽のイベントでは、スペイン語や中国語を含めた多言語で対応しています。グループ名に「チャリンコ」を使用し、人と人との「和」を「輪」でつなぎ、世界に向けて「和の輪でエール」を送る活動を続けていきます。

【審査委員コメント】日本人だけでなく、海外への情報発信にも寄与しています。これから郡山市がインバウンドに力を入れていくうえで、とても重要な役割だと思えます。



日本遺産構成文化財巡り

性について語る会 ラシクの会



インスタ
グラム



自分「らしく」あるためには正しい性の知識を学ぶ必要があるとして、平成10(1998)年から性教育の普及に取り組んでいます。家庭での親子向け講座や学校での講座のほか、デートDVや更年期などの多様なテーマによる大人向け講座、会員同士が性について語り合う定例会も開催しています。幅広い世代が性教育を学び、悩みを語り合うことで、自他を尊重し個人を認め合うまちづくりにつないでいきます。

【審査委員コメント】性教育や多様な性について、世の中の関心が高まっており、社会への貢献度が高く、公益性につながる取り組みだと感じます。



性教育の取組をPR

高倉人形浄瑠璃座



フェイスブック



明治 26 (1893) 年頃に途絶した日和田町の人形浄瑠璃文化を復活させ、次の世代へ継承しようと、平成 29 (2017) 年から活動しています。人形の操作を学ぶワークショップや成果発表会には地元の子どもたちが参加し、幅広い世代が地域の伝統芸能に愛着を深めています。郡山市内外で出前講座を開催することにより、地域文化の継承のみならず、郡山市民共通の財産を守り受け継いでいくことにもつながっています。

【審査委員コメント】人形浄瑠璃文化が郡山にあるということは、市民にとっても誇りにつながる取り組みです。今後の発展に期待します。



ジュニアクラスの発表会

特定非営利活動法人こおりやま空家バンク



HP



増加傾向にある空き家問題の解決のため、賛同する不動産や建築の団体、法務の専門家が中心となり、平成 29 (2017) 年に設立しました。「相談者に寄り添い」を合言葉に、丁寧に相談に応じ、相続や利活用などの問題解決に結び付けています。セミナーの開催など、空き家に関する知識の普及にも取り組んでいます。住みやすく、安全安心なまちづくりや、新たな居住者を増やすことに繋がり、地域活性化に貢献しています。

【審査委員コメント】これからの時代、ますます深刻な問題になると予想される空き家の活用のための対策は、社会的意義がとても高いと感じます。



空き家のこと、ご相談ください

みんなの学校



フェイスブック



令和2 (2020) 年から、お預かりしたランドセルや学用品、衣類などを、必要とする方に無償で届ける活動を続けています。個人だけでなく、学校、地域の支援者、事業者などと幅広く連携し、定期的におゆずり会も開催して、ゆずりたい人とゆずり受けたい人をつないでいます。これからも昔からあった「お互い様」の気持ちをお届けし、人と人のつながりを創出していきます。

【審査委員コメント】子育て世代の経済的支援や、ゆずる人もゆずられる人もつながりと交流が生まれています。より多くの市民にこの活動を知っていただきたいです。



イベントでおゆずり

焼き芋屋 HOKKORI



インスタグラム



普段は農業を営み、子どもたちに農業への関心を高めてもらおうと、令和4 (2022) 年から、親子向け農業体験を開催。障がい児支援団体やボランティアと協力して、どんな子どもでも安心して農作業に参加できる工夫をしています。農業体験の様子は、焼き芋販売のキッチンカーの隣でのパネル展示や SNS などで発信しており、親子世代が農業を通して多様な人と関わり、地元農業について関心を深めています。

【審査委員コメント】地域に開かれた農家としてのチャレンジが先進的であり、より多くの子どもたちに知ってもらいたいと思います。



サツマイモの収穫体験

谷田川行政区/やたがわ環境を守る会/福島県立岩瀬農業高等学校



高校 HP



宇津峰山の山野草群生地の復活のため、行政区、環境を守る会、高校が協働で平成 24 (2012) 年から植栽活動に取り組んでいます。山に自生していたエビネランやヤマユリを高校で培養し、行政区や環境を守る会が、定期的に移植エリアの草刈りや清掃を行い、協力して移植作業に励んでいます。宇津峰山を美しい山野草が群生する市民の憩いの場とするため、今後も活動を続けていきます。

【審査委員コメント】3者が協働で山野草の群生地復活に取り組んでいる活動は素晴らしい、観光名所として付加価値が上がることに期待します。



高校生たちが移植作業に汗

市民活動応援部門

出張撮影サービス photocca (フォトッカ)



インスタ
グラム



令和3(2021)年から、まちの伝統行事や子育てのイベントなどの市民活動に向いて撮影し、SNSなどで情報を発信することで、市民活動を応援しています。また、障がい児を持つ家庭向けの撮影会を開催し、子どもたちが安心してできる環境での思い出作りの機会を提供しています。単に市民活動を撮影するだけでなく、多様な団体が協働で取り組む様子を撮影し発信することで、地域の人々のつながりを創出しています。

【審査委員コメント】自分ができていることを生かし、市民活動を応援している点が先進的です。市民活動をみえる形で発信し、団体同士のつながりを作る貴重な活動です。



人と人をつなぐカメラマン

青少年・学校部門 (五十音順)

郡山女子大学短期大学部



大学
HP



プロジェクト
HP



令和2(2020)年から、毎年3月11日に東日本大震災の犠牲者を追悼し、復興を祈念するため、郡山駅前で灯籠を展示するプロジェクトを実施しています。プロジェクトには、小学生から短大生までの若い世代が参加し、震災の記憶を次世代へ伝えていきます。灯籠制作を通して、復興公営住宅に住む方々のコミュニティ形成に貢献し、灯籠に郡山市の海老根和紙を用いることにより、地域文化の継承にも寄与しています。

【審査委員コメント】児童生徒が東日本大震災について考える貴重な機会を創出しており、公益性が非常に高いです。地域住民と連携し、活動の継続、発展に期待します。



灯籠に囲まれ演奏する学生

郡山女子大学附属高等学校特別進学クラス研究部



HP



インスタ
グラム



地域に貢献したいという思いから、令和3(2021)年度に研究部を立ち上げました。児童クラブでのプログラミング教室、対話型ロボットによるごみ分別の意識啓発、JA 全農福島「愛情館」の協力のもと対話型ロボットを用いたレシピの配布、段ボールコンポストを用いた苗の成長比較など、事業者や行政と連携し活動を広げてきました。郡山の未来を担う部員が主体となって、これからも地域貢献活動を続けていきます。

【審査委員コメント】学校内での授業にとどまらず、積極的に地域で実践し、子どもたちへの学びの提供、環境保護など社会にインパクトを与える取り組みです。



プログラミング楽しい!

イベント部門

楽都郡山 DanceFES♪実行委員会



HP



X(旧ツイッター)



郡山駅前ではさこいやダンスを繰り広げるフェスを、令和3(2021)年から毎年開催しています。多様なジャンルのチーム、子どもや大学生など幅広い世代が参加するイベントで、メタバースやSNSでのアフタームービーでもダンスの熱気を味わうことができます。観覧者、参加者、スポンサーが一体となって、これからも郡山から全国にダンスの魅力を発信するとともに、まちなかのにぎわい創出につなげていきます。

【審査委員コメント】デジタル技術をフルに活用し、若者の興味をひくイベントを実施しており、郡山市のにぎわい創出にもつながっています。



盛り上がるパフォーマンス

【審査委員】郡山市市民協働のまちづくり推進協議会 市民活動推進顕彰事業専門部会

部会長 三部 香奈 (一社)グロウイングクラウド代表理事

中潟 亮兵 おおせのとおり、郡山逢瀬ふじみ野 net 文京スマイル代表

佐々木 心 福島民報社郡山本社

緑川 沙智 福島民友新聞社郡山総支社

大岡 桂子 (特非)こおりやま子ども若者ネットワーク理事、チャイルドラインこおりやま